

# 新聞記事を活用して家庭生活への関心を高め、実践意欲を育む児童の育成 ～第5学年家庭科の学習を通して～

宮崎市立生目小学校  
教諭 柏田 千穂子

## 1 はじめに

本校は今年度NIE実践指定校となった。全校児童506名(平成28年2月現在)は、図書室に設けられた新聞閲覧コーナーで、新聞に親しむ学校生活を送っている。指定を受けたことで、児童がより一層新聞に慣れ、親しみ、主体的に学ぼうとする態度の育成を図れるのではないかと考え、NIE教育の実践に取り組んでみた。

## 2 主題設定の理由

本学級の児童38名のうち、20世帯(学級世帯数は35)が新聞を購読していた。その内、新聞をよく読む児童は8名で、読む内容は主にテレビ欄であった。一方、「夕ご飯のときにテレビをみますか。」の質問に、18名が「いつも見る。」、17名が「時々見る。」と回答した。その内容は娯楽番組が圧倒的でニュース番組を見る世帯は少なく、会話があまりないらしいことが伺われた。

今回の指導要領の改訂で家庭科においては、教科の目標に「家庭生活を大切にしようとする心情をはぐくみ」という文言が新たに明示されている。このことは、家庭生活への関心を高めることを基盤に、衣食住の営みの大切さに気付くことをねらいとしたものである。前述の実態調査で浮かび上がった、『世の中の出来事や情報にあまり関心がなく、かつ家族間の会話も乏しいらしい』実態を改めるために、新聞記事を活用することで家庭生活への関心を高め、主体的に学ぼうとする態度を育成したいと考え、本主題を設定した。

## 3 実践内容

### (1) 学校における取組

本校の学校図書館には常時新聞閲覧コーナーが設置され、児童が気軽に読む姿が見られる(写真①)。置かれている新聞は、子ども新聞であるために低学年でも読みやすく、その内容も児童の興味を引くものが多い。また、学校司書による新聞記事を利用した変化に富む掲示コーナーも常設され、児童の関心を集めている(写真②)。



【新聞閲覧コーナー：写真①】



【新聞記事を利用した掲示コーナー：写真②】

(2) 第5学年家庭科における取組

① 第5学年家庭科題材「食べて元気に」の実践内容

ア 題材名 食べて元気に(第5学年)

イ 題材の目標

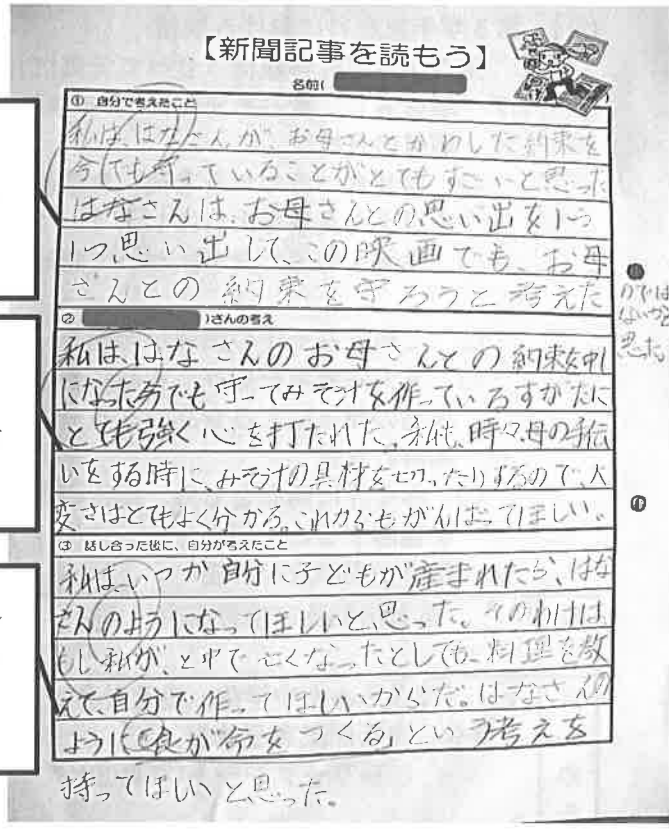
- なぜ食べるのかを考え、日常の食事や使われている食品に関心を持ち、栄養のバランスを考えた食事を大切にしようとする。(生活への関心・意欲・態度)
- 栄養を考えた食事について課題を見つけその解決を目指して考え工夫している。  
(生活を創意工夫する能力)
- ご飯とみそ汁の調理ができる。(生活の技能)
- 五大栄養素を知り、食品に含まれる栄養素の体内での主な働きが分かる。また、五大栄養素の働きによる食品のグループ分けが分かる。(家庭生活についての知識・理解)

ウ 本時の目標

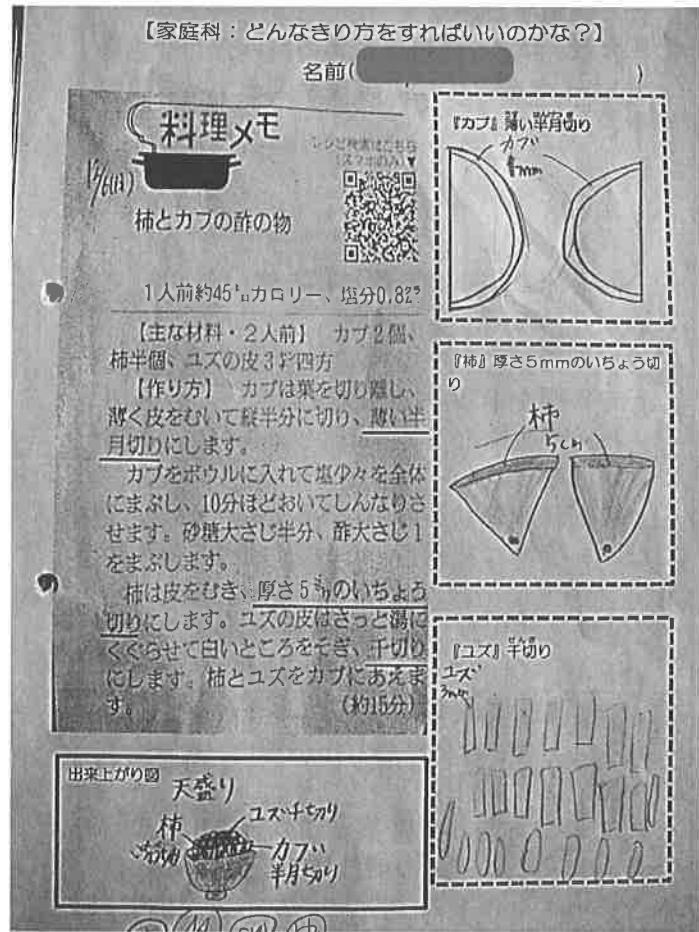
- みそ汁に関心を持ち、出汁の取り方、実の組み合わせ方、実の切り方、みそ汁の作り方を理解することができる。

エ 指導の実際及び評価

段階	学習活動及び学習内容	指導上の留意点 ★：評価項目《評価の観点》〈評価方法〉	資料
見 つ め る	1 「はなちゃん中学生 みそ汁きょうも」の新聞記事を読む。 ※ワークシート(写真③)	○ みそ汁作りへの思いを綴る新聞記事を丹念に読ませることで、みそ汁への関心を高める。	ワ ー ク シ ー ト
探 る	2 出汁の取り方について知る。 ・ 煮干、昆布、鰹節の取り方 3 実の組み合わせ方や切り方について知る。 ・ 大根、ねぎ、油揚げの組み合わせ ・ 大根は銀杏切り、ねぎは小口切り 油揚げは短冊切り 4 みそ汁の作り方について知る。 ① だしを取る ② 実を煮る ③ みそを入れて完成 5 本時で学習した、出汁の取り方、実の組み合わせ方、実の切り方、みそ汁の作り方を家庭科学習ノートに整理しながら記述する。	○ 煮干、昆布、鰹節の3種類を提示し、それぞれ出汁の取り方が異なることを掛図を使って説明する。 ○ 大根、ねぎ、油揚げの実の組み合わせを提示し、それぞれの切り方を掛図を使って説明する。 ○ みそ汁の作り方を教科書を使いながら、手順ごとに説明する。 ○ 実の種類によって、加熱の仕方が異なることを手順を示しながら説明する。 ○ みその特徴として、加熱し過ぎないことを確認させる。 ○ 家庭科学習ノートに、手順ごとに確認させながら丁寧に記述させることで理解を図る。 ★ ノートに出汁の取り方、実の組み合わせ方、実の切り方、みそ汁の作り方を記述しているか。 《知識・理解》〈ノート〉	掛 図
生 か す	6 自分の家のみそ汁の実の組み合わせとそれぞれの切り方を考える。 7 新聞記事の料理欄を生かしたワークシートで確認する。 ※ワークシート(写真④)	○ 我が家のみそ汁の実と組み合わせ方を考えることで、みそ汁作りへの関心・意欲を高めたい。 ○ 文章で書かれた野菜の切り方を図に表すことで、それぞれの切り方の理解を深める。 ★ ワークシートに、野菜の切り方を図化することができるか。《技能》〈ワークシート〉	ワ ー ク シ ー ト



【見つめる段階で使用したワークシートの表裏面：写真③；2015年5月6日付朝日新聞】



家庭科のみそ汁作りについての学習で新聞記事を利用した。

まず見つめる段階で、「はなちゃん中学生 みそ汁きょうも」の記事を利用した。ワークシートは、自分の考えを書く欄、友達の考えを書く欄、話し合いの後に自分の考えと比較して書く欄を設けることで、家庭科における言語活動の充実を図り、関心意欲を高める手立てとした。

また、生かす段階で、「料理メモ」の記事を利用した。本時学習で学んだ野菜の切り方を復習し、さらに他の料理法の野菜の切り方を考える場とした。児童は、記事の文中から切り方を考え、図に表すことで、視覚的に学ぶことができた。

【生かす段階で使用したワークシート：写真④】

2015年12月6日付朝日新聞

② 第5学年家庭科題材「家族とほっとタイム」の実践内容

本題材では、友達や家族との触れ合いや団らんを通してその大切さを理解することができることを目標に学習を展開した。本題材のまとめとして友達との団らんを新聞形式でまとめた(写真⑤)。その際、あらかじめ児童から引き出したい見方・考え方を想定し記述しておくことで、評価の手立てとしたり、児童の思考過程の変容を見る手立てとしたりした(資料①)。

<p><b>想定新聞</b></p> <p>① 友達の団らんを通してほっとタイム          ② 友達の話を語り上げた          ③ 喜ぶ以外の話もして楽しかった          ④ 友達の話を聞いてあげた          ⑤ 友達の話を聞いてあげた          ⑥ 友達の話を聞いてあげた          ⑦ 友達の話を聞いてあげた          ⑧ 友達の話を聞いてあげた          ⑨ 友達の話を聞いてあげた          ⑩ 友達の話を聞いてあげた</p>	<p><b>お母さんの手紙</b></p> <p>① 友達の話を聞いてあげた          ② 友達の話を聞いてあげた          ③ 友達の話を聞いてあげた          ④ 友達の話を聞いてあげた          ⑤ 友達の話を聞いてあげた          ⑥ 友達の話を聞いてあげた          ⑦ 友達の話を聞いてあげた          ⑧ 友達の話を聞いてあげた          ⑨ 友達の話を聞いてあげた          ⑩ 友達の話を聞いてあげた</p>
---	---

【想定した新聞形式ワークシート：資料①】

【記述された新聞形式ワークシート：写真⑤】

4 成果と課題

(1) 成果

- 新聞記事を使う目的を明確にし、ものの見方や感じ方を伝え合うように活用することで、家庭科における言語活動の充実を図ることができた。その結果、児童の家庭生活への関心・意欲は高まり、家庭生活を見つめ直して家庭での実践欲の向上が見られ、有効であった。
- 新聞形式のワークシートを活用して友達への思いや家族への思いなどを記入することで自分の成長を感じながら家庭生活と家族の大切さに気付くことができ、有効であった。

(2) 課題

- 現行の学習指導要領から、多教科に新聞が指導すべき内容として盛り込まれた。このことを踏まえて来年度は、全学年で、かつ教科を超えた取組をしたい。そのために、全職員で年間計画の見直しをしたり、各教科のどの単元で新聞記事を活用したNIE教育が可能か検討したりしていく必要がある。